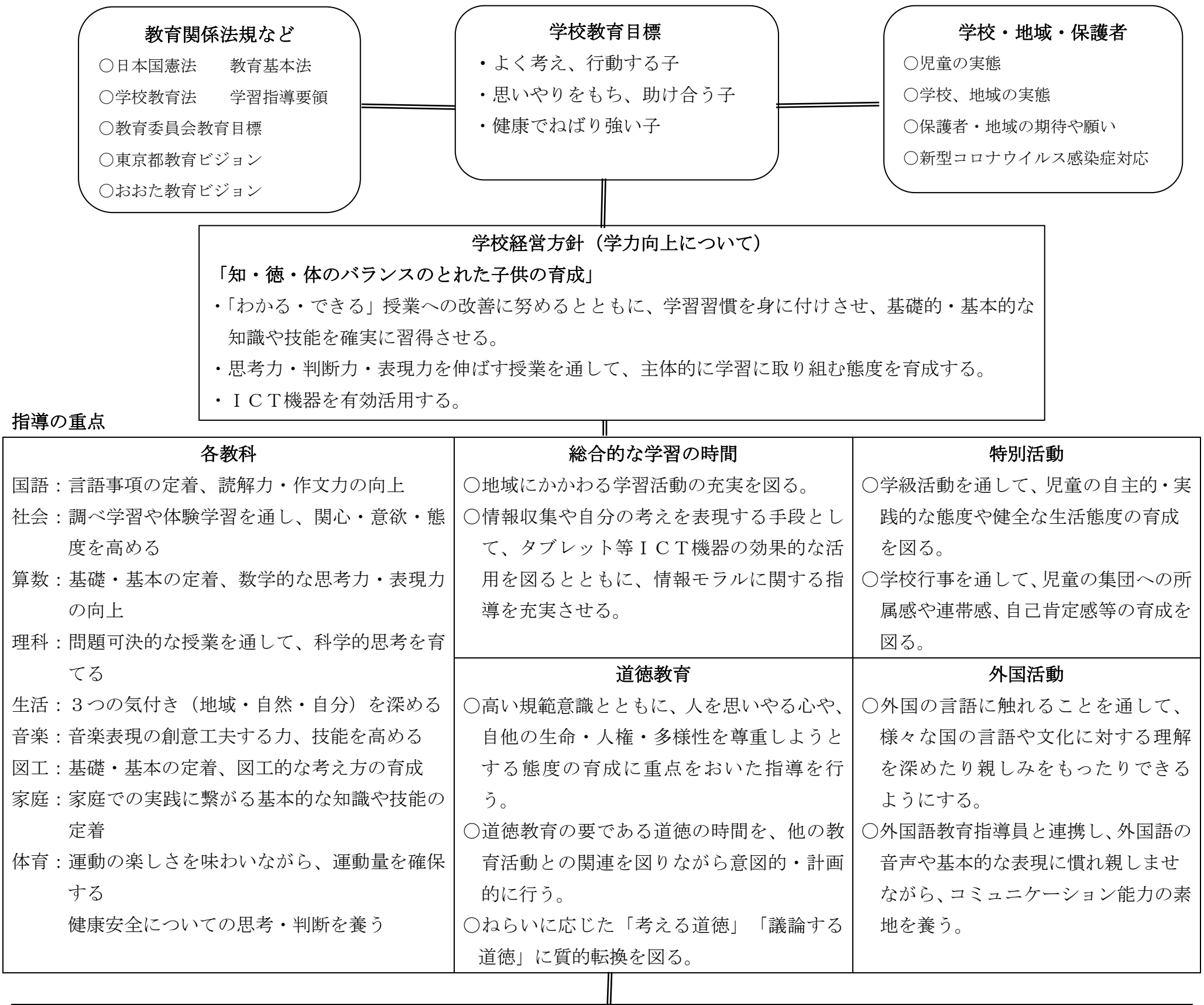


令和7年度 学力向上を図るための全体計画

大田区立六郷小学校



授業改善に向けた視点

教育課程	指導内容・方法	評価活動	研究・研修	家庭や地域との連携
○朝読書を週1回、ボランティアによる読み聞かせを月1回程度行い、読書週間を各学期に設定する。	○学習規律・生活規律を確立（六郷スタイルの定着）する。	○学習のねらいを明確にし、確かな学力の定着に努め、指導と3観点での評価の一体化を図る。	○「道徳的価値を自分のこととして考えられる児童を育てる道徳授業」を研究主題とし、授業研究を中心に校内研究を行う。	○個人面談を行い、児童一人一人の成果や課題について話し合う。
○算数放課後補習（年16回）、土曜補習教室（年6回）を行い、個に応じた指導の充実を図る。	○体験的・問題解決的な学習活動を積極的に取り入れる。	○週案による振り返りの自己評価を行う。	○教員の指導力向上を図るためのOJT研修を行う。	○学校公開日を有効に活用し、本校の教育活動への理解が深まるようにする。
	○各教科でICT機器を効果的に活用する。	○大田区学習効果測定の結果やチェックシートをもとに、学習カルテを作成し、授業改善や個に応じた指導に努める。	○教育委員会や都研修センター等での研修、区のエducational研究会、指導教諭の授業公開、研究発表校等への参加を通して授業力の向上に努める。	○学校支援本部と連携し、保護者・地域の教育力を生かす。
	○タブレットドリルを全学年で実施し、基礎学力の定着を図る。	○保護者アンケート、学校評価を授業改善の資料とする。		○小中一貫、幼保小の連携の強化を図る。
	○読書学習司書を活用し、読書の日常化を図る。			